

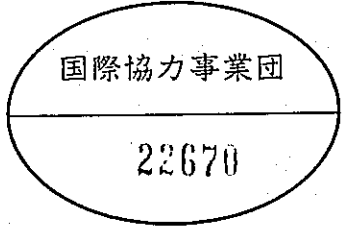
海外移住モデル高放活動の現況

B-14

海外移住モデル高放活動の現況

000  
23.4  
EA

BRARY



国際協力事業団

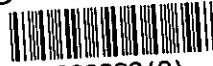
22670

II-30  
N

# 海外移住 モデル高校活動の現況

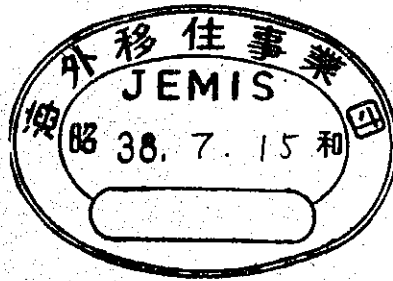
= 調査統計を通じて見る =

JICA LIBRARY



1092333(2)

22670



昭和36年4月1日

財団法人 日本海外協会連合会

# 国際協力事業団

受入 月日	国際協力	和歌山 市
登録No.	222	E000
		23
登録No.		AJ92

## まえがき

海外移住モデル高校の指定は、昭和33年度より実施されたが、各都道府県においては、それぞれ農業高校はじめ普通高校を数校つつ定め今日に至っている。その指定の全国合計は、昭和35年9月現在数で157校に達しているが、生徒数の内容、海外移住研究クラブ活動の動態、地方海外協会の指導の現況等については、未調査のまま置かれてきた。

モデル高校育成強化の対策を構ずるためには、先ず以て実態を把握することが先決であることは、言うまでもない処であって、この見地から昨年7月以来動態調査中のところ、この程ようやく集計が終ったので、ここに調査資料として作成するに至った次第である。

## 指定校数について

全都道府県には、それぞれ最低1校以上のモデル高校が置かれており、指定校の置いていない都道府県は1県もない。

府県における指定校数の規模を眺めると、大体3校乃至5校を指定している県が最も多く、6校以上になると、ずっと少くなっている。校数の最も多いのは愛知県で12校を指定しており、その他長野、福井県なども多い部類に入る。

指定校数の規模をA(1校より2校まで)、B(3校より5校まで)、C(6校以上)の三つのクラスに分けて眺めて見ると、Bクラスが最も多く22県、次いでAクラスがそれに次いで19県、Cクラスの6校以上指定になると、ずっと減って僅かに5県である。Cクラスの県を地域的に眺めると、東北、四国ブロックを除いて各ブロックに一つずつ見られる。

## 生徒数の規模について

指定校はどの位の生徒数を持った学校が多いか、生徒数から見た規模を眺めると、生徒数500人以上の学校が最も多く約6割を占めており、次いで301人以上500人までの生徒数規模の学校がこれに続いており、生徒数少数の学校は比較的少ない。

ただ福井県の指定校8校は全部100人以下の学校であることが目立っている。

生徒数規模を5つのクラスに分けて見ると次のとおりである。

Aクラス(100人以下のもの)	13校
Bクラス(101人~200人)	6校
Cクラス(201人~300人)	8校
Dクラス(301人~500人)	37校
Eクラス(501人以上)	93校

なお、157校の生徒数96,155人のうち男女別生徒数について見ると、男子69,559人、女子26,567人で、その割合は男72.4%、女子27.6%である。

## 海外移住研究クラブの数について

指定モデル校における移住研究クラブの有無について眺めると、「有」が125校、「無」が32校で、約8割近くの指定校がクラブ組織を有している。特に中国ブロック内における各県の指定校は全部クラブ組織を持っていることは注目される。クラブに加入して研究活動を行っている生徒の人員はどの位であろうか。125校のクラブ加入メンバーを合算すると4,145人になっている。クラブの規模は、各ブロックを通じて21人から50人まで

のクラブが最も多く、次いで11人以上20人までのクラブ、第3位は51人以上の大きなクラブの順序となっている。クラブ員数の規模を比較すると次のとおりである。

10人以下のもの	19校
11人以上20人	29校
21人以上50人	59校
51人以上	18校

次にモデル校の全生徒数とクラブ加入の生徒数について対比してみると、全生徒数96,155人に対してクラブ加入生徒数は4,145人で、比率は4.3%に過ぎない。

## クラブ活動について

指定校研究クラブにおけるクラブ活動はどのように行われているか、活動の内容について、映写会、座談会、講演会、現地との通信、図書回覧、語学勉強、留守宅訪問等の項目に分け調査してみた。

### ① 映写会

157校のうち「実施している」と明確に書いているのは76校で、「未実施」と「未記入」の合計は80校である。この統計から眺めると、ようやく半数近くの指定校が映写会をやっているに過ぎないことが判る。

映写会活動が案外不振の現況については、更につき進めて調査する必要があるが、一応常識的に考えられる原因としては、クラブの映写会に対する慾求欠除というよりも、上映映画フィルムの入手難にあるのではあるまいか。

映写会開催5回以上実施のモデル校を有する県は愛知県となっており、注目に値する。

## ② 座談会

実施しているモデル校は157校のうち35校だけできわめて低調である。「実施していない」とハッキリ調査表に書いているもの31校に「未記入」の91校を加えると122校となり、約7割8分がやっていない現状である。

## ③ 講演会

「実施している」モデル校は65校に対し「実施していない」と「未記入」を合せた数が92校で、これまた低調である。「実施している」研究クラブでも5回以上開催しているところはない。

座談会にせよ、講演会にせよ、活動実績が低いのは、地方において適当な講師が得難い点に原因の一つがあるように見受けられる。

座談会や講演会は、クラブ活動の中でも最中心となるべき性質のものだけに、この不振の数字に関し原因探求と対策が必要と思われる。

## ④ 現地との通信

「未記入」が81校あるが、これは「実施していない」34校の範囲に入るから、この合計は115校。これに対し「実施している」校数は42校で、僅か全体の4割に過ぎない。現地との通信をしたい意欲は相当持っているにも拘らず低調な現状にある原因は更に今後探究すべきであるが、考えられる原因としては、ローマ字による宛先住所がよく判らないことや、外国郵便に対する不慣れなこと、通信費財源の問題等が挙げられる。

## ⑤ 図書回覧

モデル校157校のうち「実施している」のは、僅か22校だけで、全体の14%のモデル校は「実施していない」と「未記入」である。

不振の原因は、なんと言っても回覧すべき図書をモデル校が持っていないことにあると思われる。



#### ⑥ 語学勉強

「実施している」のは僅か7校のみで、あとは全部「実施していない」か又は「未記入」であってまず白紙の状態に近い。

スペイン語、ブラジル語勉強の低調状態についての原因について考えられることは、(1)語学講師の得難いこと、(2)英語の学習やその他科目の勉強に追われていて第二外国語まで手が廻りかねること、(3)クラブ活動が現実の海外移住の決意にまで高まっていないこと ―などが挙げられる。

(註)＝本統計集計後東北の一部の県内モデル高校にブラジル語学習の気運が高まり、録音テープ等を活用したり、帰国中の在伯日系人を利用して学習を行っている。

#### ⑦ 留守宅訪問

「実施している」のは10校だけである。このうち福井が8校、岩手が1校、福岡が1校を占めている。

南米へ息子を送り出している両親の心境などを聞くための留守宅訪問では南米雄飛を志す青年たちにとって魅力を感じないが、現地から留守宅への手紙など情報入手のための訪問ならばある程度の意義はあるものと思われるので、担当教官の指導方向が今後本活動の消長をきめるカギとなろう。

#### 県海外協会の指導と援助について

県海協はモデル高校に対してどのよりの指導と援助を与えているか ― について眺めてみよう。

県海協の指導援助は、映画会、講演会、展示会等の開催、図書および資料の寄贈、講師の派遣、担当教官との打合せ会等々広汎に亘っているが、ここでは、そのうち担当教官との打合せ会、講師の派遣、資料の配給、図書の

配給の点について集計数字を一瞥することとする。

① 担当教官との打合せ会

「実施している」のは55校だけで、あと残りの102校は「未記入」となっている。

② 講師の派遣

「実施している」のは20校だけで、残り137校は「未記入」となっている。実施した道府県は、北海道、茨城、群馬、山梨、大阪、兵庫、香川の7つに過ぎない。

③ 資料の配布

「実施している」が87校で、あとの70校は「未記入」となっている。

④ 図書の寄贈

「実施している」が80校で、あとの77校は「未記入」となっている。

### 地方的に見たモデル高校の動態

全国157校の指定モデル高校の動向を地方的に眺めてみよう。

① どの府県が最も生徒数が多いか。

愛知県が最も多く5,566人である。上位10位までの府県を列記すると次のとおり。

1位 愛知県 (5,566人)	2位 熊本県 (3,881人)
3位 鳥取県 (3,870人)	4位 京都府 (3,743人)
5位 富山県 (3,526人)	6位 島根県 (3,450人)
7位 徳島県 (3,143人)	8位 香川県 (3,073人)
9位 青森県 (2,978人)	10位 栃木県 (2,925人)

② 地区ブロック別ではどこが多いか。

全国を7ブロックに分けて、ブロック別に生徒数を見ると次のとおり。

- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 1位 関東ブロック(23,701人) | 2位 東北ブロック(14,339人) |
| 3位 東海、北陸“(13,414人) | 4位 九州 “(11,598人)   |
| 5位 中国 “(11,520人)   | 6位 四国 “(10,661人)   |
| 7位 近畿 “(9,559人)    |                    |

### 送出実績について

クラブ加入メンバーの海外へ移住した実績を調べるため調査アンケートを出した処、回答記入の中にはクラブ員のみならず、モデル高校指定以前からの当該校卒業者の移住数を記入したものが混入していた。従って対比することは当を得ないと思われるが、現在全国のモデル高校研究クラブ所属生徒数4:145人に対し、海外移住を実現したのも621人は悪い数字ではないと思われる。

県別に見たモデル高校出身者の送出実績数は鹿児島県の152人を筆頭に上位10位までを列記すると次の如くである。

- |                   |                |
|-------------------|----------------|
| 1位 鹿児島 (152人)     | 2位 熊本 (39人)    |
| 3位 長野 (29人)       | 4位 山梨 (26人)    |
| 5位 宮城 (25人)       | 6位 青森 (22人)    |
| 7位 山形 (21人)       | 8位 栃木、佐賀 (18人) |
| 9位 神奈川、福井、香川(16人) | 10位 宮崎 (15人)   |

### おわりに

海外移住モデル高校は、昭和33年5月設置され、今日に至っているが、その目的とする処は(1)感受性の強い青少年に対し海外移住の啓蒙を行う、

(2)青少年を通じてその家族を動かす、(3)生徒が将来単独青年として、又は家族を伴って移住するための精神的基礎をつくる。(4)直接的効果は別としても、将来農村の中堅層となる生徒に移住思想を普及する——ことにある。

モデル高校育成強化のため、昭和33年度以降育成費が一応計上されたが、その額は僅少で、資料図書購入も充分でなく諸種のクラブ活動を行うことは容易ではない。

本統計を通じて、考えられることは、モデル高校活動不振の要因が、担当教官の移住知識の不足、講師や教材の入手難、図書ならびに資料備えつけ不備などにあるとは言え、最も大きな悩みとなっているのは、育成費の不足である。経費をある程度増額して援助を与えることによって、現在のモデル高校は更に躍進するのではあるまいか。

「仏つくつて魂入れず」という言葉があるが、制度としてつくってから既に3年経過している現在遺憾ながらまだ完全に魂が入っているとは言いがたい。この際モデル高校活動振興のため一段と積極的施策が必要であることを、本調査統計は示しているのである。

以上。

## 〔附 録〕

## モデル高校一覧表

(昭 35. 12. 1 現在)

北海道	道立野幌機農高等学校	江別市西野幌 5 8 2
	" 帯広農業高等学校	帯広市川西町
	" 江部乙高等学校	空知郡江部乙町
	" 永山農業高等学校	上川郡永山町
青 森	県立三本木農業高等学校	十和田市大字三本木西小稲
	" 五所川原農林高等学校	五所川原市栄町
	" 柏木農業高等学校	南津軽郡平賀町柏木
	" 名久井農業高等学校	三戸郡名川町
秋 田	県立大曲農業高等学校	大曲市中道東 2 2
	" 鷹巣農林高等学校	北秋田郡鷹巣町
	" 大館桂高等学校(定時制)	大館市桂町
岩 手	県立水沢農業高等学校	水 沢 市
宮 城	県立加美農業高等学校	加美郡中新田町
	" 宮城農業高等学校	仙台市長町
	" 小牛田農林高等学校	遠田郡小牛田町牛館
	" 柴田農林高等学校	柴田郡大河原町
山 形	県立金山高等学校	最上郡金山町金山
	" 酒田北高等学校	酒田市本盾前田
	" 上山農林高等学校	上山市北町弁天
	" 粕倉門伝高等学校	山形市粕倉門伝
	"	

山形	県立村山農業高等学校	村山市北町
福島	県立福島農蚕高等学校	福島市渡利
	" 耶麻高等学校	耶麻郡山都町
新潟	" 双葉農業高等学校	双葉郡大熊町上野上
	県立加茂農林高等学校	加茂市上条
群馬	" 新発田農業高等学校	新発田市清水谷
	県立勢多農林高等学校	前橋市三保町
	" 佐波農業高等学校	伊勢崎市上泉町
	" 新田農業高等学校	新田郡新田町
茨城	" 利根農林高等学校	沼田市戸鹿野
	県立水戸農業高等学校	水戸市木ノ析町
	" 真壁農業高等学校	真壁郡真壁町飯塚
	" 上郷農業高等学校	筑沼郡豊里町上郷
	" 小湊農業高等学校	那珂郡緒川村小湊
栃木	" 鯉淵学園	東茨城郡原村
	県立真岡農業高等学校	真岡市熊倉町
	" 那須農業高等学校	那須郡西那須野町
埼玉	" 矢板高等学校	矢板市中
	県立秩父農工高等学校	秩父市大字大宮 7 2 2
	" 杉戸農業高等学校	北葛飾郡杉戸町清池
	" 児玉高等学校	児玉郡児玉町八幡山
千葉	私立農民講道館農業高等学校	与野市大字円町彌 2 7 2
	県立多古高等学校	香取郡多古町
	" 安房農業高等学校	安房郡和田町

東京	都立農産高等学校	葛飾区下千葉町 8 4 0
	" 農業高等学校	府中市 9 4 7 2
神奈川	県立平塚農業高等学校	平塚市平塚遠上 2 4 4 0 1
	" 相原高等学校	
	" 愛甲農業高等学校	高座郡海老名町
山梨	県立農林高等学校	中巨摩郡竜王町
	" 峡南高等学校	高座郡海老名町中新田
	" 峡北高等学校	北巨摩郡長坂町下原
長野	県立北佐久農業高等学校	北佐久郡浅間町
	" 下伊那農業高等学校	下伊那郡
	" 下高井農林高等学校	下高井郡木島平村
	" 北安曇農業高等学校	北安曇郡池田町
	" 更級農業高等学校	更級郡篠ノ井町
	" 上伊那農業高等学校	伊那市伊那郡
	" 須坂園芸高等学校	須坂市横町
	" 長野吉田高等学校	長野市吉田町
	" 中条高等学校	上水内郡中条村
	" 富士見高等学校	諏訪郡富士見町
静岡	県立磐田農業高等学校	磐田市仲泉中町
	" 田方農業高等学校	田方郡函南村
富山	県立有磯高等学校	氷見市鞍川
	" 桜井高等学校	黒部市三日市
	" 福野高等学校	東礪波郡福野町苗島
石川	県立松任農業高等学校	石川郡松任町馬場町 1 4 1

石川	県立七尾農業高等学校	七尾市徳田町下己部5-7
岐阜	県立岐阜農林高等学校	本巣郡北方町
	" 郡上高等学校	郡上郡八幡町
愛知	県立西尾実業高等学校	西尾市龜沢町
	" 渥美農業高等学校	渥美郡田原町
	" 猿投農林高等学校	西加茂郡猿投町
	" 新城高等学校	新城市
	" 稲沢高等学校	稲沢市
	" 長久手高等学校	愛知郡長久手村
	" 半田農業高等学校	半田市宮地
	" 岩津高等学校	岡崎市東蔵前町
	" 安城農林高等学校	安城市安城町
	" 時普館高等学校	豊橋市富本町
	" 田口高等学校	北設楽郡設楽町
	" 滝実業高等学校	江南市東野
三重	県立久居高等学校	一志郡久居町
	" 相可高等学校	多気郡多気町
福井	県立福井農林高等学校	福井市新保町
	" 坂井農業高等学校	坂井郡坂井村
	" 若狭農林高等学校	小浜市竹原
	" 三国高等学校	坂井郡川西町
	" 大野高等学校	大の市，龜山
	" 勝山高等学校	勝山市下元祿
	" 丹生高等学校	丹生郡朝月町気比庄



福井	県立鯖江高等学校	鯖江市上鯖江町
滋賀	県立甲南高等学校	甲賀郡甲南町
京都	府立桂高等学校	京都市左京区川島松木本町
	" 須知高等学校	船井郡丹羽町
	" 北桑田高等学校	北桑田郡京北町
	" 綾部高等学校	綾部市岡町
大阪	府立農芸高等学校	南河内郡美原町
	" 能勢高等学校	豊能郡能勢町上田尻
兵庫	県立農科大学	多紀郡篠山町
	" 豊岡農業高等学校	豊岡市大磯
	" 淡路農業高等学校	津名郡北淡町
奈良	県立田原木農業高等学校	磯城郡田原木町
	" 郡山農業高等学校	大和郡山市北郡山
和歌山	県立南部高等学校	日高郡南部町
	" 熊野高等学校	西牟婁郡上富田町
鳥取	県立鳥取農業高等学校	鳥取市湖山
	" 倉吉農業高等学校	倉吉市大谷
	" 米子南高等学校	米子市長砂町
	" 智頭農林高等学校	八頭郡智頭町智頭
	" 八頭高等学校	" 郡家町久能寺
	" 百野産業高等学校	日野郡黒坂町黒坂
	" 鳥取県立農業大附属農林高等学校	松江市福富町
島根	" 横田高等学校	仁多郡横田町
	" 邑智高等学校	邑智郡邑智町

島根	県立矢上高等学校	邑智郡石見町
	" 益田産業高等学校	益田市益田町
岡山	県立新見農業高等学校	新見市新見
	" 勝間田農林高等学校	勝田郡勝央町勝間田
広島	県立西条農業高等学校	加茂郡西条町
	" 広島農業短期大学	"
山口	県立田布施農業高等学校	熊毛郡田布施町
	" 山口農業高等学校	吉敷郡小郡町下郷
徳島	県立徳島農業高等学校	徳島市鮎喰町2丁目
	" 新野高等学校	阿南市橋町豊田字室の久保
	" 板野高等学校	板野郡板野町
香川	県立石田高等学校	大川郡寒川町
	" 香川高等学校	高松市一宮町
	" 飯山高等学校	綾歌郡飯山町
	" 笠田高等学校	三豊郡豊中町
愛媛	県立西条農業高等学校	西条市福武
	" 伊予農業高等学校	伊予市下吾川
	" 南宇和高等学校	南宇和郡御荘町
高知	県立高知農業高等学校	南国市後免町
	" 弘岡農業高等学校	吾川郡春野村
	" 幡多農業高等学校	中村市中村
	" 嶺北高等学校	長岡郡本山村
福岡	県立糸島農業高等学校	糸島郡前原町
	" 八女農業高等学校	八女市大字本町

福岡	県立朝倉農業高等学校	甘木市大字三奈木
	〃 久留米農芸高等学校	久留米市山川町追分
	〃 嘉保農業高等学校	飯塚市東荻田町
佐賀	県立佐賀農芸高等学校	佐賀郡大和村尼寺
	〃 伊万里農林高等学校	伊万里市二里町
長崎	県立諫早農業高等学校	諫早市立石町
熊本	県立熊本農業高等学校	熊本市出水町
	〃 菊地農蚕高等学校	菊地市隈府町
	〃 八代農業高等学校	八代郡鏡町
	〃 芦北農林高等学校	芦北郡芦北町
	〃 鹿本農業高等学校	鹿本郡鹿本町
	〃 玉名農業高等学校	玉名市下位願寺
	〃 天草農業高等学校	天草郡本渡市
宮崎	県立高鍋農業高等学校	児湯郡高鍋町
	〃 日南農林高等学校	日南市
大分	県立三重農業高等学校	大野郡三重町
鹿児島	県立拓植講習所	日置郡東市来町
	〃 市来農芸高等学校	日置郡市来町
	〃 伊佐農林高等学校	大口市原田町

[ 第 1 表 ]

地区 ブロック	指定校 名	項目 記号 数	指定校数			生徒数					移住クラブ		クラブ	
			A	B	C	100人 以下	101~ 200人	201~ 300人	301~ 500人	501人 以上	有	無	10人 以下	11~ 20
			1-2 校	3-5 校	6校 以上									
東北 ブロック	北海道 青森 岩手 宮城 秋田 山形 福島 新潟	3		B					2	1	2	1		
		4		B					1	3	2			
		1		A						1	1			
		4		B						4	4			
		3		B						1	3			
		5		B						2	1			
関東 ブロック	茨城 群馬 栃木 群馬 千葉 東京 神奈川 山梨 長野	5		B	1		1	3		5				
		3		B					2	3				
		4		B						2	3			
		3		B						2	2			
		2		A						2	2			
		2		A						1	2			
		3		E						2	1			
		3		B						2	2			
		10		C						7	10			
		2		A						2	1			
東海 北陸 ブロック	富山 石川 岐阜 愛知	3		B					3					
		2		A					2	2				
		2		A						2	2			
		12		C	1	2	1	4	4	6	6			
近畿 ブロック	三重 滋賀 京都 大阪 奈良 和歌山	8		C	8					8				
		1		A					1					
		4		B					2	4				
		2		A						2				
		3		B						3				
		2		A						2				
中国 ブロック	徳島 岡山 広島 山口	6		C	1				4	6				
		5		B					4	5				
		2		A					1	2				
		2		A	1					1				
		2		A					1	2				
四国 ブロック	徳島 香川 愛媛 高知	3		B					3	3				
		4		B					3	3				
		3		B						3				
		4		B					2	3				
九州 ブロック	福岡 佐賀 長門 熊本 鹿児島	5		B					6	5				
		2		A					2	2				
		1		A						1				
		7		C					5	6				
		2		A					1	2				
3		B	1					2	1					
計			A	B	C	13	6	8	37	93	125	32	19	29



[第2表]

海外移住モデル高校調査統計  
地方的に見た動向調査

(昭35.9.1現在)

地区 ブロック	項目 県名	指定 校数	生徒数			ク ラ ブ 数	ク 員 ラ ブ 数	送 出 実 績	ブロック別生徒数	
			男	女	計				男	女
東北 ブロック	北海道	3	1,283	270	1,553	2	64	9	11,634	2,705
	青森	4	2,376	602	2,978	2	72	22		
	岩手	1	504	273	777	1	120	2		
	宮城	4	2,413	465	2,878	4	95	25		
	秋田	3	1,410	310	1,720	3	45	13		
	山形	5	1,529	624	2,153	1	23	21		
関東 ブロック	福島	2	831	330	1,161	2	80	—	男女合計 14,337	—
	茨城	2	2,027	455	2,482	2	33	12		
	栃木	5	1,537	—	1,537	5	112	9		
	群馬	3	1,725	1,200	2,925	3	88	18		
	埼玉	4	1,846	350	2,196	3	65	13		
	千葉	3	1,942	494	2,436	2	91	4		
	東京	2	1,071	776	1,847	2	76	4		
	神奈川	2	575	381	956	2	30	1		
	山梨	3	1,641	271	1,912	1	72	16		
	長野	3	1,827	799	2,626	2	84	26		
東海 ブロック	山梨	10	4,370	1,644	6,014	10	238	29	17,507	6,194
	岐阜	2	973	279	1,252	1	32	11		
	富山	3	3,062	464*	3,526	3	115	8		
	石川	2	1,228	588	1,816	(未記入)	65	5		
	岐阜	2	1,010	348	1,358	2	98	3		
	愛知	12	4,264	1,302	5,566	6	(未記入)	7		
近畿 ブロック	三重	2	654	494	1,148	—	—	5	10,218	3,196
	福井	8	135	14	149	8	137	16		
	滋賀	1	258	282	540	—	—	1		
	京都	4	2,347	1,396	3,743	4	436	1		
	大阪	2	381	258	639	2	66	4		
	奈良	3	1,032	365	1,397	3	63	3		
	和歌山	2	1,008	254	1,262	—	—	—		
	徳島	2	1,042	787	1,829	2	120	8		
中国 ブロック	鳥取	6	2,860	1,010	3,870	6	103	2	8,079	3,441
	島根	5	2,163	1,287	3,450	5	429	12		
	岡山	2	1,154	219	1,373	2	76	5		
	広島	2	729	299	1,028	2	108	12		
四国 ブロック	山口	2	1,173	626	1,799	2	75	10	6,643	4,018
	徳島	3	1,844	1,299	3,143	3	87	9		
	香川	4	2,001	1,072	3,073	3	45	16		
	高松	3	1,227	819	2,046	3	180	—		
九州 ブロック	福岡	4	1,571	828	2,399	3	67	11	8,536	3,062
	佐賀	5	1,826	757	2,583	5	50	14		
	長門	2	1,012	333	1,345	2	90	18		
	大分	1	580	129	709	1	34	7		
	熊本	7	2,722	1,159	3,881	6	108	39		
	宮崎	1	668	135	803	—	—	3		
	鹿児島	2	710	313	1,023	2	51	15		
鹿儿岛	3	1,018	236	1,254	2	130	152			
計		157	69,559	26,567	96,155	125	4,145	621	95,621	

